

第2学年 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：自分の生き方を考える ～My Life Plan for the future～

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・積極性】

指導者 呉市立東畑中学校 平本千晶・沖村太音

日時 令和3年9月8日（水）4校時
場所 呉市立東畑中学校 第2学年 各教室
学年 第2学年（男子31名 女子27名 計58名）

単元について

○単元観

本単元は、本質的な問い「わたしたちは、地域とどうかかわり、どう生きるのか」を基に構想した。呉の産業（造船業等）について知り、ものづくりについて学び、ものづくり体験や工場見学などを通して、自分たちの住む地域・企業に目を向け、その企業に入社したと仮定し、社員として自分たちは何ができるのかという視点から、地域の活性化のための企画案づくりを行う。これらのことにより、地域の一員としての自覚や誇りを持ち、将来の仕事や自らの生き方について考えられるようになることを目標に単元を設定している。本中学校区では、設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・積極性】を育成することをねらいとしている。キャリア教育の一環として、職業や自己の将来に関する学習を行うことは、生徒にとって、とても関心の高いことであり、生徒の発達にふさわしいものである。自らの将来を考え、実社会に出て働くことの意味を考えることで、どのような職業があるのかを知り、どのような職業に就きたいのか、そのためにはどうすればよいのかを考える機会となっている。また、義務教育修了段階において進路選択を迫られる場面に出会うが、こうした時期に学ぶ意味、働くことや職業を自分との関わりで考えたり、自分の将来を展望したりすることは、自己の生き方を考えることに直接つながる重要な学習であると考えられる。

○生徒観

本学年の生徒は、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業の影響で1学年の総合的な学習の時間を十分にとれていないが、限られた時間の中で、1月にはPASカードによる「自己理解」、2月には仕事調べ・上級学校調べ、2月末には新しい入試制度改革を視野に入れた「自己アピール力向上のための校長面談」を行い、自分の適性の把握や表現力向上のための取組を進めてきた。また、「令和3年度広島県児童生徒学習意識等調査」の生徒質問紙における肯定的評価では次のような結果が得られた。

質問内容	本校	広島県
将来の夢や目標を持っています。	<u>76%</u>	74.2%
学校の勉強の予習をしています。	32%	40.5%
学校の勉強の復習をしています。	56%	61.8%
自分で勉強の計画を立てています。	46%	54.4%
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしています。	64%	67.0%
学習を最後までやりとげて、うれしかったことがあります。	78%	79.9%
将来、仕事や生活の中で役にたつと思うから勉強しています。	76%	80.1%
分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。	74%	78.1%
「総合的な活動の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	50%	68.2%
自分の住んでいる地域の事が好きです。	76%	81.2%
興味・関心があることや学習に関することを、本や資料を活用して調べています。	46%	54.6%

将来の夢や目標については県平均を若干上回っていたが、「学習習慣・学習動機・学習意欲」の7項目のすべてで県平均を下回った結果となった。また、総合的な学習の時間での「課題発見・解決学習」や地域に関わる項目、本や資料の活用等についても県平均を下回っている。このことから、将来の夢や目標はある程度持つてはいるが、将来に向けて何をどのようにしなくてはいけない

かなど、具体的な道筋についてまだほとんど意識していない生徒が多いと考えられる。

○指導観

本単元は地域の一員としての自覚や誇りを持ち、将来の仕事や自らのこれからの生き方について考えられるようになることを目標としている。指導に当たっては、地域の産業である造船についての仕事内容を見学したり、造船に関連したものづくりを体験したりすることで、生徒自身の住む地域に目を向けさせていきたい。また、呉市や呉の企業が抱える課題などについてインターネットや実際に働いている人から情報を集めることで課題を設定させ、「企業の一員」として自分たちにできることを考え、その課題解決のための方法を探究させていきたい。そして、自らが考えた企画をタブレットのKeynoteにまとめ、クラスの仲間に向けて分かりやすくプレゼンテーションさせることで、豊かな表現力も身に付けさせたい。最終的には文化活動発表会で学校全体に企画を広めるべく、プレゼンテーションの相互評価を行わせ、文化活動発表会でよりよく伝えるための表現方法について改善策を探らせ、次年度の自己表現への意欲につなげたい。

単元の目標及び評価規準

【単元の目標】

自分たちの住む地域についてのよいところや課題を見つけ、その課題の解決に向けて積極的に活動することを通して、地域の一員として自分に何かできることはないかを積極的に考え、地域の活性化のために自分たちにもできることがあり、自らの生き方について考えられるようになる。

【評価規準】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性
① 自分たちの住む地域・呉の街について調べ、知り、良くしたいと思うことが地域の活性化につながることを理解している。	① 自分の考えや思いを伝える際に伝える方法を工夫し、より伝わりやすい方法や手順で伝えようとしている。	① 課題解決に向けて、見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら、次時の活動に生かそうとしている。
② 呉の未来を考える学習が将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。	② 他者に自分の考えがより分かりやすく伝わるように、目的に合わせて、情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。	② 自分と地域との関わりの中で自己の生き方を考え、地域のためにできることを見つけようとしている。
	③ 地域（企業）の活性化につなげるための自分たちの考えを分かりやすくまとめ、適切な方法で表現している。	③ 仕事と自分との関わりに関心をもち、今後の学習や生活のあり方を積極的に考えようとしている。
	④ 働くために必要な力は何かを考え、講座や体験を通して、将来への目標や夢を持ち、今の自分に何ができるかを考えている。	

指導と評価の計画

本時は 34/58 (全 58 時間)

〈本質的な問い〉わたしたちは、地域とどうかかわり、どう生きるのか

次 (時)	学習内容 【他教科等との関連】	評 価	
		評価規準 (評価方法)	資質・能力
一 (35)	<p>課題の設定</p> <p>○2学年の総合では、どのような学習を行うかを知る。(1)</p> <p>○NHK「ブラタモリ」を視聴し、呉市がどのようにして発展したか、呉で生きる私たちにできることは何かを考える。(1)</p> <p>情報収集</p> <p>○「PASカード」で、進路学習に向け自己認識を深める。(1)</p> <p>○「EduTown あしたね」で、自分に合った様々な職業について知る。(3)</p> <p>○リージョナルデザイン株式会社による「ものづくり体験講座」を受け、呉市に根付く「船」に関わる仕事について知り、工場見学や、ポンポン船を実際に作って走らせるなどの体験をする。(18)</p> <p>整理・分析</p> <p>○「ものづくり体験講座」で学んだことを、1クラス6班に分かれて新聞にまとめる。(7)</p> <p>実行・創造</p> <p>○新聞にまとめたことを相手に伝わりやすく発表するために、発表の工夫をしたり、練習をしたりする。(2)</p>	<p>○課題の解決に向けて、自ら進んで情報収集を行おうとしている。(発言)</p> <p>○課題の解決に向けて、集めた情報から、必要な情報を取り出している。(ワークシート, 発言)</p> <p>○課題の解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。(生徒観察)</p> <p>○課題の解決に向けて、集めた情報から、必要な情報を取り出している。(ワークシート, 発言)</p> <p>○講座を通して、地域の良さを理解したり、課題の解決に向けて、自ら進んで情報収集を行ったりしようとしている。(ワークシート, 発言)</p> <p>○伝えたい相手や目的, 意図を確認して、新聞にまとめている。(生徒観察, 新聞)</p> <p>○発表内容を見直して、よりよい発表にするために、新たな意見を取り入れたり、協力して取り組んだりしている。(生徒観察, 発言)</p>	<p>知識・技能①</p> <p>知識・技能①</p> <p>主体性・積極性①</p> <p>知識・技能①</p> <p>思考力・判断力・表現力④</p> <p>思考力・判断力・表現力②</p> <p>思考力・判断力・表現力①</p>

【単元を貫く課題】呉の街や呉の企業を元気にするために、自分たちに何ができるのだろう。



【単元を貫く課題】呉の街や呉の企業を元気にするために、自分たちに何ができるのだろう。

<p>一 (35)</p>	<p>まとめ・表現・実行</p> <p>○新聞の内容を、クラス内で発表する。(1)【本時】</p> <p>振り返り</p> <p>○「ものづくり体験講座」の学習を振り返る。(1)</p>	<p>○相手や目的、意図に応じて伝える手段を考え、発表している。 (生徒観察、評価シート)</p> <p>○積極的に意見を述べたり、書いたりして、学習のまとめを行い、今後の活動につなげようとしている。 (生徒観察、ワークシート)</p>	<p>思考力・判断力・表現力①</p> <p>主体性・積極性③</p>
<p>二 (23)</p>	<p>新たな課題の設定</p> <p>○呉に生きる私たちに、呉をよりよくするためにできることは何かを考える。(1)</p> <p>情報収集</p> <p>○呉市の会社・事業所には、他にどんなものがあるのか、特徴や仕事内容、社会にどのように貢献しているのかを調べる。(3)</p> <p>整理・分析</p> <p>○興味のある企業を班ごとに1つ決め、その企業についてさらに詳しく調べる。(2)</p> <p>○文化活動発表会に向け、「呉の企業から企画発信！」と題して、その企業に入社したと仮定し、社員の視点から、呉のまちや企業を元気にするための企画を考え、まとめる。(3)</p> <p>○企業の紹介と企画をKeynoteでスライドにまとめるために、使い方を学ぶ。(2)</p> <p>○スライドの構想を班で考え、分担してスライドを作成する。(5)</p>	<p>○呉の課題を様々な視点から調べたり、解決の方法を考えたりしている。 (生徒観察)</p> <p>○地域の事業所を調べることで、地域のためにできることを見つけようとしている。 (ワークシート、発言)</p> <p>○課題の解決に向けて、自ら進んで情報収集を行おうとしている。</p> <p>○積極的に企画を提案し、根拠も含めて伝わりやすいようにまとめている。 (生徒観察・ワークシート)</p> <p>○自らKeynoteの機能を積極的に試し、その技能を学習につなげようとしている。 (生徒観察)</p> <p>○課題の解決に向けて、班で協力し、意欲的に活動している。 (生徒観察、ワークシート)</p>	<p>知識・技能②</p> <p>主体性・積極性②</p> <p>知識・技能①</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p> <p>主体性・積極性①</p> <p>思考力・判断力・表現力②</p>

二
(23)

実行・創造

- 伝え方やスライドの内容を工夫し、Keynoteでのプレゼンテーションを練習する。(2)
- クラス内でプレゼンテーション発表会を行い、相互評価をして、文化活動発表会で発表する代表の企業を決定する。(1)
- 代表に決まった企業は内容をさらに見直す。司会を設けて、司会は原稿を考える。他の企業は、自分たちのスライドや活動の様子を模造紙にまとめ、展示の準備をする。(2)

まとめ・表現・実行

- 「呉の企業から企画発信！」を披露する。(1)
【文化活動発表会】

振り返り

- 「呉の企業から企画発信！」を振り返る。(1)

- 班で協力し、より分かりやすく伝える工夫をしている。(生徒観察)
- 伝えたい相手や目的を確認して、自分たちの伝えたいことを表現している。(生徒観察)
- 作成した発表内容を見直して、よりよい発表にするために、新たな意見を取り入れ、改善しようとしている。(生徒観察、ワークシート)

- 相手や目的、意図に応じて手段を考え、発表している。(生徒観察)

- 積極的に意見を述べたり、書いたりして、学習のまとめを行い、今後の活動につなげている。(生徒観察、ワークシート)

思考力・判断力・表現力①

思考力・判断力・表現力②

思考力・判断力・表現力①

思考力・判断力・表現力②

主体性・積極性③

本時の展開

本時の学習

(1) 本時の目標

「ものづくり体験」を通して学んだことや感じたことを、表現方法を工夫し、分かりやすく発表することができる。

(2) 本時の評価規準

得た知識・技能を分かりやすく発表するために、前時にいただいた小笠原さんのアドバイスを参考にしながら、相手や目的、意図に応じて伝える手段を考え、発表している。

【思考力・判断力・表現力】

(3) 学習の展開 (第 34 時 / 全 58 時間)

分	学習活動	指導上の留意点	資質・能力の評価 (評価方法)
2	1 本時のめあてを確認する。		
ものづくり体験講座で学んだことを、相手に分かりやすく工夫して発表しよう。			
3	2 新聞発表のポイントを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「新聞に書いてあることをそのまま読むのではなく、重要な部分をまとめて言う」「重要な部分には抑揚をつけて」「体は前をむいて」等、小笠原さんから再度確認をしていただき、生徒の発表に活かすようにする。 	
5	3 ポイントをもとに、発表練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して練習させる。 	
25	4 班ごとに発表し、評価シートを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のポイントに留意して、相手を意識して発表させる。聞き手は、相手に伝わりやすい話し方、内容の工夫等の視点で、ワークシートに点数をつけ、改善点も記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して、伝わりやすい工夫をしている。(生徒観察)
5	5 他の班の発表の良かった点や改善すべき点を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートのメモをもとに、改善点を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より伝わりやすいように発表するにはどうすればいいか、課題や改善策を伝えている。(評価シート、生徒観察)
10	6 小笠原さんに講評をいただき、発表の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに反省と感想を記入させ、今後の活動につなげるよう指示する。 	
振り返り例 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の内容を、要点をまとめて発表することができた。結果、聞き手に分かりやすく伝わっていた。 ・発表の声やスピードなどを改善点として教えてもらった。次回の発表の際には、聞き取りやすさを意識したい。 			

成果と課題

【生徒の振り返りより】

- 最初は生きていく上で必要ないと思っていた内容でも、終えてみると面白くて、もっと知りたいと思うようになりました。特に、海的环境を守ることを考えて仕事をされている姿勢は、どの仕事にも置き換えることができる大切なことだと感じました。 【主体性・積極性】
- JMU 見学では、いままで遠くからしか見ていなかったけど、造船の工場を間近で見ることができて、そのスケールの大きさや迫力、高い技術力に感動しました。日本一の船を短期間でつくる技術が呉にあることを知って驚き、呉がまた好きになりました。 【知識・技能】
- JMU の資料館に道徳で学習したエルトゥール号のことについて書いてある資料がありました。学校で学習したことを多く知っておくことは資料館などに行ったときにさらに知識が深まると思いました。【知識・技能】
- たくさんの知識を学んで貯めておくことは、将来どこかで役に立つと思いました。自分の引き出しをたくさん作るために、学校での授業を大切にしようと思いました。 【主体性・積極性】
- 新聞やプレゼンテーションを Keynote で作るとき、1つのものを班のみんなで作るには、分かりやすくするために、フォントやレイアウトなどをそろえないといけないので、私たちの班ではたくさん話し合ったり、役割を分担したりして頑張りました。 【思考力・判断力・表現力】
- 他の班の発表を聞いて、大切なことを伝える工夫がたくさんあり、すごいと思いました。わかりやすいプレゼンにするためには、工夫は必ず必要だと思いました。声のトーンをかえたり、身振り手振りを加えたり、それは将来自分をアピールする面接やプレゼンテーションでも生かせる技術だなと思いました。
【主体性・積極性】 【思考力・判断力・表現力】
- 人に何かを伝えるためには、多くの知識を持った上で、その知識をまとめて分かりやすく文章にして話さないといけないことや、効率よく仕事をするには順序を決めて取りかかるようにしないとダメだと思いました。普段から人に思いを伝える練習をしようと思います。
【思考力・判断力・表現力】 【主体性・積極性】
- 僕は講座を受けて、特に「英語」が必要だと思いました。どの仕事でもたくさんの知識を得ることが必要で、文献から知識を得るときに英語の文献が読めたらもっと知識の幅が広がるし、コミュニケーションの幅も広がると思うからです。 【主体性・積極性】

【成果】

- 地域の高い技術力をもつ企業の活動の一端に触れ、職業人の専門性に感銘を受けることで、職業についての幅広い視野や考え方を持たせることができた。そして、その専門的な分野が中学校で学習している内容とつながっていることを知り、将来の進路選択のためには、今、しっかり学習していく必要があるという意識を持たせることができた。さらに、呉を支えている産業やその技術の高さを知ることで、地域への関心を高めることができた。 〈主体性・積極性〉
- 学習後、「本質的な問い」に対して自分の将来につなげて考える生徒が多く見られたことから、課題を解決していくためには様々な情報（知識）が必要であるが、ネットからの情報だけではなく、実際に見学したり、体験したりすることで“生きた知識”につながると感じた。また、調べたことを相手に分かりやすく伝えるためには、多くの情報から必要なものを取捨選択し、説明の流れをグループで話し合いながらまとめていくことが大切であることを再認識した生徒が多く見られた。 〈知識・技能〉
- 各グループでは、事前にプレゼンの練習を何回も行ったり、指導者からのアドバイスをもらったりしながら、プレゼン内容を改善する作業を協働しながら行っていた。改善作業では、より伝わりやすい内容になるようにグループで試行錯誤しながらまとめていた。また、発表会では相互評価を通して、他のグループのよさに気付いたり、自分たちの良さや改善点を客観的にとらえたりすることができた。 〈思考力・判断力・表現力〉

【課題】

- 今回の取組は本年度初めて実施したため、他教科や学校行事、日常生活へつなげていくカリキュラム・マネジメントを総合的な学習の時間を軸として再構築していく。
- 他教科や生活の中での学びが活かされたという成功体験を味わわせるための方法。
- 探究活動におけるペアやグループ活動のさせ方や全体でのプレゼンテーションでの共有方法。
- 生徒が自己の学びの成果を実感できるような評価の返し方の工夫。